

業績と財務状況

連結業績サマリー

(億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度*1	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
連結粗利益	29,207	29,811	28,462	27,686	28,062	29,455	31,702	37,388	41,267	48,447
資金利益	13,586	13,902	13,314	13,069	13,352	15,280	17,178	18,807	23,382	27,196
役務取引等利益+信託報酬	10,171	10,705	10,646	10,881	10,989	12,055	12,257	14,902	15,689	18,323
特定取引利益+その他業務利益	5,450	5,203	4,502	3,736	3,721	2,120	2,267	3,679	2,196	2,928
営業経費	18,124	18,162	17,151	17,396	17,471	18,211	19,492	22,506	24,020	26,515
経費率	62.1%	60.9%	60.3%	62.8%	62.3%	61.8%	61.5%	60.2%	58.2%	54.7%
持分法による投資損益	246	390	611	561	250	285	555	720	(55)	1,377
連結業務純益	11,329	12,038	11,923	10,850	10,840	11,529	12,764	15,602	17,193	23,309
与信関係費用	1,644	942	1,103	1,706	3,605	2,744	2,102	2,740	3,445	3,884
株式等損益	550	1,189	1,163	805	926	2,091	1,559	2,498	5,098	4,461
その他	(176)	(645)	(631)	(628)	(1,050)	(469)	(612)	(699)	(1,651)	(852)
経常利益	10,059	11,641	11,353	9,321	7,110	10,406	11,609	14,661	17,195	23,034
特別損益	(266)	(553)	(117)	(434)	(388)	(1,110)	(625)	(1,238)	(195)	(516)
法人税等	1,710	2,705	3,314	1,677	1,563	2,145	2,821	3,737	5,131	6,669
非支配株主に帰属する当期純利益	1,018	1,040	655	171	31	84	105	57	89	18
親会社株主に帰属する当期純利益	7,065	7,344	7,267	7,039	5,128	7,066	8,058	9,629	11,780	15,830

*1 2020年度より割賦販売取引の会計処理を変更。2019年度については遡及処理を実施

業績と財務状況

連結貸借対照表サマリー

(億円)

	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末 ^{*1}	2020年度末	2021年度末	2022年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末
資産の部合計	1,977,916	1,990,491	2,036,591	2,198,635	2,425,843	2,577,046	2,704,286	2,952,367	3,062,820	3,285,111
貸出金	802,373	729,459	779,792	825,176	851,327	908,341	984,041	1,070,139	1,111,362	1,176,292
有価証券	246,318	257,127	243,380	271,288	365,490	385,387	332,132	371,428	407,610	399,741
負債の部合計	1,865,573	1,874,362	1,922,075	2,090,786	2,306,853	2,455,073	2,576,375	2,804,367	2,914,405	3,125,780
預金	1,178,302	1,164,775	1,223,250	1,270,422	1,420,262	1,485,855	1,587,703	1,648,394	1,714,987	1,856,742
譲渡性預金	118,809	112,203	111,655	101,804	125,706	130,698	130,256	146,723	171,754	156,671
純資産の部合計	112,343	116,129	114,516	107,849	118,990	121,973	127,911	148,000	148,415	159,331
株主資本	81,191	86,370	90,544	93,543	95,134	99,386	103,084	106,300	112,090	117,520
利益剰余金	50,368	55,526	59,922	63,363	64,926	69,165	74,236	78,435	82,902	88,711
その他の包括利益累計額	16,125	17,534	17,139	13,657	23,131	21,596	23,721	40,301	34,944	40,334
非支配株主持分	14,993	12,196	6,785	629	708	976	1,095	1,389	1,373	1,471

財務指標等

総自己資本比率(国際統一基準)	16.93%	19.36%	20.76%	18.75%	18.61%	16.56%	15.98%	15.29%	15.18%	15.69%
Tier1比率(国際統一基準)	14.07%	16.69%	18.19%	16.63%	16.96%	15.46%	14.94%	14.33%	14.23%	14.49%
普通株式等Tier1比率(国際統一基準)	12.17%	14.50%	16.37%	15.55%	16.00%	14.45%	14.02%	12.91%	12.44%	12.41%
1株当たり配当金(円) ^{*2}	50	57	60	63	63	70	80	90	122	157
配当性向	29.9%	32.7%	34.6%	37.0%	50.8%	40.7%	40.4%	37.1%	40.3%	38.0%
ROE(株主資本ベース)	9.1%	8.8%	8.2%	7.6%	5.4%	7.3%	8.0%	9.2%	10.8%	13.8%
ROE(東証基準ベース)	7.6%	7.3%	6.9%	6.6%	4.5%	5.9%	6.5%	7.0%	8.0%	10.4%

マーケットデータ

日経平均株価(円)	18,909	21,454	21,206	18,917	29,179	27,821	28,041	40,369	35,618	51,064
為替レート(米ドル/円)	112.19	106.25	111.00	108.81	110.71	122.41	133.54	151.33	149.53	159.90

^{*1} 2020年度より割賦販売取引の会計処理を変更。2019年度については遡及処理を実施

^{*2} 2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。過年度にその分割が行われていたと仮定して調整した金額

業績と財務状況

連結損益状況サマリー

連結粗利益は、貸出残高の増加や金利上昇の追い風を受けた国内資金利益の増益に加え、活発なコーポレートアクションの捕捉や資産運用・決済ファイナンスビジネスの好調等に伴う手数料収入の増加等により、前年比7,179億円増益の4兆8,447億円となりました。

営業経費は、インフレ影響や円安による為替影響に加え、収益連動経費の増加等を要因に前年比2,496億円増加の2兆6,515億円となりました。一方、コスト削減施策等、適切な経費コントロールやトップラインの伸長により、経費率は前年比3.5%低下し、大幅な改善となりました。

持分法による投資損益は、2024年度に実施したVPBank・FE Creditにおけるのれん減損処理が剥落したことを主因に、前年比1,432億円増益の1,377億円となりました。

与信関係費用は、中東情勢の悪化に対するフォワードルーキング引当の計上に加え、OTO／SOFの不良債権の一括処理を実施した結果、前年比439億円増加の3,884億円となりました。

株式等損益は、Kotak株式の売却益を計上した一方、大口含み益銘柄の政策保有株式の売却益剥落や東亜銀行株式の売却に伴う損失を計上した影響で、前年比638億円減益の4,461億円となりました。

その他、米州銀行子会社再編、睡眠預金の抜本引当等で損失を計上しましたが、親会社株主純利益は前年比4,050億円増益の1兆5,830億円となりました。

このように、良好な事業環境の下、国内を中心に本業の好調が継続した結果、将来の収益力向上に向けた手当を実施したうえで、連結粗利益・連結業務純益・親会社株主純利益のいずれも過去最高益を3年連続で更新しました。

	(億円)	
	2025年度	前年比
連結粗利益	48,447	+7,179
営業経費	26,515	+2,496
持分法による投資損益	1,377	+1,432
連結業務純益	23,309	+6,116
与信関係費用	3,884	+439
株式等損益	4,461	(638)
経常利益	23,034	+5,839
親会社株主純利益	15,830	+4,050

主要グループ会社の業績 (左列:2025年度実績 右列:前年比) (億円)

	三井住友銀行		SMBC信託銀行	
業務粗利益	26,779	+4,213	807	+85
経費	11,860	+1,139	457	+31
業務純益	14,919	+3,075	351	+55
当期純利益	14,117	+3,431	264	+41

	SMBC日興証券*1		三井住友カード*2	
業務粗利益	5,864	+510	8,844	+660
経費	4,707	+238	6,270	+581
業務純益	1,157	+272	2,629	+801
当期純利益	1,283	+550	1,057	+1,700

	三井住友DSアセットマネジメント 50%		三井住友ファイナンス&リース*3 50%	
業務粗利益	516	+78	4,112	+1,053
経費	354	+19	1,792	+389
業務純益	163	+60	2,409	+632
当期純利益	58	+21	1,201	(138)

三井住友フィナンシャルグループの出資比率

*1 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsの利益を含む内部管理ベース

*2 SMBCコンシューマーファイナンスの計数を含む

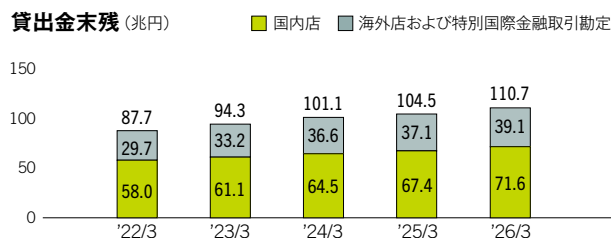
*3 内部管理ベース

業績と財務状況

連結貸借対照表サマリー

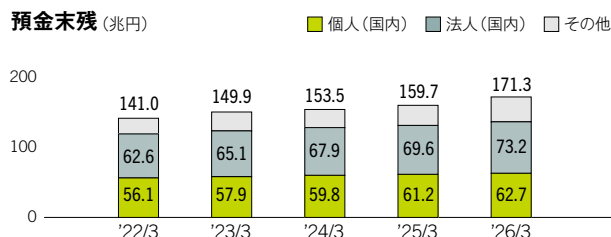
貸出金(三井住友銀行単体)

国内において、活発なコーポレートアクションに伴い、引き続き資金需要が堅調に推移したことを主因に、貸出金末残は前年度末比6.2兆円増加し、110.7兆円となりました。



預金(三井住友銀行単体)

国内において、マーケット全体の預金増加幅が逡減していく環境の中、個人向けにはOliveを中心とした預金獲得施策の推進、法人向けには的確な運用ニーズの捕捉や



柔軟な金利運営を実施することで、個人預金・法人預金ともに残高が増加した結果、前年度末比11.6兆円増加の171.3兆円となりました。

国内預貸金利回差(三井住友銀行単体)

貸出金利回から預金等利回を差し引いた、預貸金利回差は、国内政策金利の上昇を主因に、前年比0.18%上昇の1.14%となりました。

国内預貸金利回差の推移 (%)

	2025年度					2024年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	年間
貸出金利回	1.26	1.30	1.34	1.47	1.34	1.02
預金等利回	0.18	0.19	0.19	0.26	0.20	0.06
預貸金利回差	1.08	1.11	1.15	1.21	1.14	0.96

有価証券

その他有価証券の残高は、担保目的で保有していた短期国債が減少したこと等により、期末残高は前年度末比4兆9,745億円減少の34兆8,023億円となりました。評価損益は、株価の上昇を主因に前年度末比4,142億円増加の3兆2,202億円となりました。

その他有価証券の評価損益

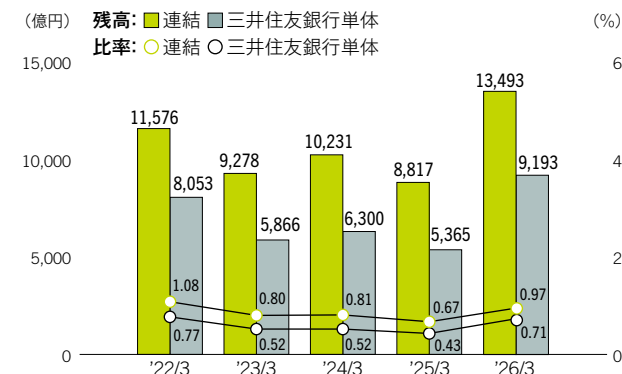
(億円)

	残高		評価損益	
	2025年度末	前年度末比	2025年度末	前年度末比
国内株式	35,033	+4,581	24,972	+5,363
国内債券	75,567	(63,368)	(2,712)	(1,264)
その他	237,423	+9,042	9,943	+43
合計	348,023	(49,745)	32,202	+4,142

銀行法及び再生法に基づく債権

銀行法及び再生法に基づく債権残高は、海外大口先の劣化を主因に前年度末比4,676億円増加し、1兆3,493億円となりました。また、不良債権比率も前年度末比0.30%上昇し、0.97%となりました。

銀行法及び再生法に基づく債権・不良債権比率



業績と財務状況

自己資本の状況

自己資本額

普通株式等Tier1資本は、利益蓄積に加え、株価上昇により保有株式にかかるその他有価証券評価差額金が増加したことを主因に、前年度末比9,589億円増加し、12兆5,440億円となりました。Tier1資本、ならびに総自己資本は、永久劣後債の発行等により前年度末から増加し、それぞれ14兆6,559億円、15兆8,659億円となりました。

リスクアセット

国内の貸出金残高の増加や円安による為替影響により信用リスクアセットが増加したことを主因に、リスクアセットは前年度末比7兆9,611億円増加の101兆782億円となりました。

自己資本比率

左記の結果、最も重要な中核的自己資本の充実度を表す普通株式等Tier1比率は12.41%、総自己資本比率は15.69%となり、いずれも十分な水準を維持しています。

レバレッジ比率

デリバティブ取引やレポ取引の残高増加等を主因に総エクスポージャーは増加しましたが、Tier1資本も増加しており、レバレッジ比率は5.00%と所要水準を満たしています。

外部TLAC比率

自己資本の充実に加えて、海外の社債市場での外部TLAC適格債務の調達を通じ、外部TLAC資本の充実に努めています。外部TLAC比率はリスクアセットベースで23.86%、総エクスポージャーベースで9.51%と、ともに所要水準を満たしています。

連結自己資本比率(国際統一基準)の状況

(億円)

	2025年度末	2024年度末	前年度末比
普通株式等Tier1資本	125,440	115,851	+9,589
その他Tier1資本	21,119	16,737	+4,382
Tier1資本	146,559	132,588	+13,971
Tier2資本	12,101	8,853	+3,248
総自己資本	158,659	141,441	+17,218
リスクアセット	1,010,782	931,171	+79,611

普通株式等Tier1比率	12.41%	12.44%	(0.03%)
Tier1比率	14.49%	14.23%	+0.26%
総自己資本比率	15.69%	15.18%	+0.51%

レバレッジ比率

レバレッジ比率	5.00%	5.01%	(0.01%)
---------	-------	-------	---------

外部TLAC比率

リスクアセットベース	23.86%	23.61%	0.25%
総エクスポージャーベース	9.51%	9.60%	(0.09%)

総エクスポージャー

総エクスポージャー*	2,927,465	2,644,262	+283,203
------------	-----------	-----------	----------

*日本銀行に対する預け金を控除